

入院診療看護計画表（結腸切除）

病棟 病室 号

氏名(富士通 太郎 様)

担当医() () ()

看護師()

項目	病日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8～11日目(退院)
	入院日	手術前日	術前	術後								
目標												
予定	<ul style="list-style-type: none"> □ 前日までに、手術に必要な検査を行います □ 手術同意書等を提出してください □ 腹部やおへその処置をします □ 昼間下剤を服用します □ 寝る前に睡眠剤を内服します (希望がありましたら) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 朝、洗腸をします □ 点滴があります □ 鼻から管を入れます □ 手術室で尿を出すための管を入れます □ 手術室で背中に痛み止めのチューブを入れます □ 必要時、手術中に中心静脈カテーテルを入れます □ 血栓予防のためのストッキングをはきます 	<ul style="list-style-type: none"> □ 点滴があります □ 抗生剤の点滴があります □ 酸素吸入をします □ 心電図モニターを取り付けます □ 手術後に鼻の管が抜けます 	<ul style="list-style-type: none"> □ 創部にテープを貼ります □ 痰を出しやすくする吸入を行います(3回/日) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 術後経過により尿の管を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> □ 痛み止めのチューブを抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> □ 点滴が徐々に減っていきます □ 点滴は終わります □ テープをはがします 	<ul style="list-style-type: none"> □ ストッキングをはずします 				□ 退院ができます
食事	□ 食事ができます	□ 昼まで食事ができます	□ 麻酔導入3時間前まで飲水可能です			□ むせがなければ水分制限はありません	□ 昼から食事が始まります 潰瘍吐血術後食(流動食)	潰瘍食吐血術後食(3分粥)	低残渣食1(5分)	低残渣食1(全粥)	低残渣食2(軟飯)	
活動	□ リハビリ開始			□ ベッド上安静です 寝返り、立てひざ等はできます	□ ベッド上で座る練習から始めましょう (血栓があれば離床できません)	□ 体調が良ければ頑張っ立って歩きましょう	□ ベッドサイド～室内歩行をしてみましょう	□ 病棟内歩行ができます				
清潔		□ 腹部やおへその処置が終了後、入浴・シャワーをしていただきます	□ 手術着に着替えます		□ 体を拭きます	□ 体を拭くタオルを配ります (背中等お手伝いします)						□ 担当医の許可が得たらシャワー浴ができます
説明指導	□ (入院中)薬についての説明があります (薬剤師)	<ul style="list-style-type: none"> □ 手術に必要な物品の確認をします □ 担当医及び麻酔科医が手術や麻酔について説明します □ 手術室看護師の説明があります □ 排便の状態を看護師にお知らせください □ 血栓予防のストッキングの測定・説明をします 	<ul style="list-style-type: none"> □ 手術中、ご家族の方は病室でお待ちください □ 手術説明室、ICU入室の説明をします □ 貴重品・入歯等はご家族の方で保管してください 	<ul style="list-style-type: none"> □ 手術後、担当医より家族の方へ結果の説明があります □ 痛みがある時は、いつでもお知らせください □ 深呼吸を時々しましょう 頑張っ痰は出しましょう 				□ 管理栄養士から食生活についての説明があります (術後5～7日目)		□ 担当医から病理検査の結果説明があります		□ 診断書等の書類が必要な方は早めにお申し出ください

■退院指導■

次回受診日
月 日 () 時 分
担当医 ()
※予約が入っていますので、診察券を忘れずお持ちください

この計画は現時点のもので、病状によって治療・看護の内容を変更します。変更があれば、その都度説明させていただきます。不安なこと・心配なことがあればお申し出ください。